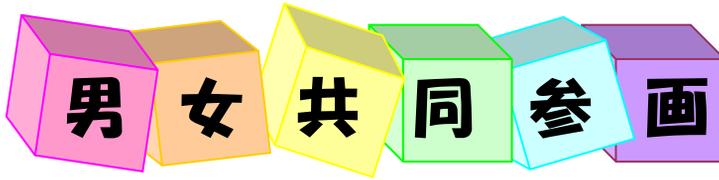


平成25年度



たより

No1~No4



【発行】

男女共同参画啓発推進委員会
古賀市役所 総務課 男女共同参画係



目次

ページ

- ◇たよりNo.1 2013年 7月 ----- 1
古賀市男女共同参画のつどい
「一行詩」表彰、活動団体紹介、農産物・加工品販売
講演「わたしらしく生きる」
講師 トコ 氏（コラムニスト）
- ◇たよりNo.2 2013年 10月----- 2
第1回 男女共同参画セミナー
講演「防災における女性の登用」
講師 城下 邦芳 氏（防災士）
- ◇たよりNo.3 2013年12月 ----- 3
第2回 男女共同参画セミナー
講演「これからのくらしと年金」
～これだけは知っておきたい公的年金についてやさしくお伝えします～
講師 菅野 美和子 氏（社会保険労務士）
- ◇たよりNo.4 2014年 4月 ----- 4
審議会等女性委員交流セミナー
ワールド・カフェ
テーマ「わかりあえないことから始めるコミュニケーション」

平成25年度「古賀市男女共同参画のつどい」を開催しました

平成25年6月29日(土)に、リーバスプラザ(市中央公民館)2階大会議室にて、国の男女共同参画週間(23日~29日)にあわせて「古賀市男女共同参画のつどい」を開催しました。



つどいでは、市民から募集した男女共同参画に関する「一行詩」の優秀作品の表彰、男女共同参画を推進

する団体の紹介、コラムニスト トコさんによる「わたしらしく生きる」の講演を行いました。また、会場では、「一行詩」応募作品や、男女共同参画を推進するグループのパネル展示、農業女性活動促進事業推進協議会による地元農産物や、「まんま実〜や」の加工食品なども販売し、たくさんの方に参加していただきました。(参加者133名)



講演「わたしらしく生きる」トコ氏

丙午(1966年)に生まれた3人の女性の生き様を通して、それぞれの女性が「わたしらしく生きる」ためにチャンスを見逃さず、チャレンジし、人生を輝かせている実例をご紹介します。

一人目は、銀行で働く女性。雇用機会均等法の施行とともに、当時はまだ珍しい女性総合職として雇用され、「男性には負けない」と人一倍以上に仕事し、現在は、管理職となって、充実した日々を過ごしている「わたし」。

二人目は、専業主婦の女性。子どもと親の体操を考案し、どんな大きな場所でも、臆することなくチャンスをつかみ、首相官邸にまで呼ばれる存在となった「わたし」。

三人目は、証券会社で働き、アフターファイブはボディコンで踊りに繰り出す女性。バブルの崩壊で、証券会社社員としての意義を見失い、辞職。父の闘病をきっかけに土づくりに目覚め、NPO法人を立ち上げ、それをいろんな人に伝えるために、土づくりの講座を開催し、活躍している「わたし」。

また、トコさんご自身もさまざまなことにチャレンジした体験談もお話されました。



体験談の中の失敗談を踏まえ、「失敗」と結論づけるためには、一度とこんとんチャレンジしてみなければ、失敗かどうかはわからないという言葉がとても印象的でした。本当の「わたし」とは、そして「わたしらしく生きる」ためには、とにかく勇気を出して、小さなことでも一歩踏み出してチャレンジしてみることが重要だと気づかされました。

参加者の声

- 何でもとりあえずやってみる!!ということが心にしみました。(50代女性)
- 楽しいお話でした。笑って聞けてすっきり。私も何か一歩踏み出したら世界が広がるかとも思いました。行動しなければ何事も始まらないと元気をもらいました。(60代女性)

男女共同参画に関する「一行詩」の表彰

「一行詩」の取り組みは、今年で7回目となり、今年度は、687名の方から1,278作品もの応募がありました。その中から作者の男女平等への思いがより表現されていた12作品を表彰しました。幅広い世代の方々がこの取り組みに参加していただくことで、男女平等の意識が多くの人に浸透していくことを願っています。

一行詩最優秀作品

男だから? 女だから? 比べてみてもらえられた「命」はみな平等

西田 真凜 さん[千鳥小5年]

母さんが 土日に仕事 ぼくたちも 父さん一緒に 家事分担

入江 元基 さん[小野小6年]

ぼくのババすいじ、せんたく、金魚のおそうじふつうにやっているよ

長尾 直記 さん[古賀東小3年]

「男女差別を無くそう」言葉だけでは伝わらない 出来る事から始めよう。

吉富 向日葵 さん[舞の里小5年]

男の色ってあるのかな?

女の色ってあるのかな?

何色が好きだかって変じゃない

清原 萌々 さん[古賀西小5年]

エプロンが似合う 男の子

つなぎが似合う 女の子

みんないい汗かいてるよ

堀田 有紗 さん[古賀東中2年]

日本でも近い将来見れるかな?

女性総理の誕生を

光澤 知花 さん[古賀中1年]

男だから... 女だから...

見るべき所は そこじゃない

井島 大地 さん[古賀竟成館高1年]

男女が、力を合わせて

子どもを育てる 夢を育てる

久具 寛 さん[特別支援学校高2年]

二人で経験する子育ては 幸福2倍

苦勞半分

広渡 智恵美 さん[遠賀信用金庫]

パパ淹れるコーヒー 美味しい夜勤明け

吉村 裕美 さん[愛和病院]

イクメンはイクメンだよ おだておき

河村 洋子 さん[一般]

学年は平成25年3月31日現在

平成25年度「第1回男女共同参画セミナー」を開催しました

平成25年8月22日(木)に、市役所大会議室にて、『防災における女性の登用』をテーマに、防災士である城下邦芳さんに講演していただきました。防災組織には当初から女性の存在が不可欠であることを、DVD「安心できる避難所づくり」を上映しながら、福岡市東区美和台4丁目自治会長という経験を交えて、わかりやすくお話いただきました。自主防災組織

長や区長、さらに市民のみなさまが参加していただきました。質疑応答では、時間が足りないくらい質問がされました。

(参加者49名)



講演「防災における女性の登用」 防災士 城下邦芳氏

講演内容

昨年、福岡市の防災士の資格を取得し、各種災害ハンドブックを作成して美和台校区住民の防災意識の高揚を図りました。そして、地震発生を想定して、美和台小学校への避難訓練を実施しました。174名が参加し、内60名位が避難所生活を体験する1泊2日の訓練でした。「災害発生時に想定される非常時態勢について」のマニュアルが作られ、「避難所受入班の体制」についても十分検討され、役割分担がなされてきました。民生委員の女性は集まってきた避難所の情報収集等をしてきざとされたことに対し、自治会長など男性で構成する受入班はパニック状態でした。防災組織作りには、地域に密着した女性の視点を登用することが大切であると痛感しました。



感想

防災は男性が主導し、活躍する場と思っていたが、今回考えが変わった。地域に密着し、生活全般に関わっているのは女性の方であり、災害発生時の避難措置から避難所生活に至るまで、女性の貢献度が大きくなって、マニュアル作成には女性の視点を取り入れることが大切であると思った。

(佐藤)

DVD「安心できる避難所づくり」

製作：あおり被災地の地域コミュニティ再生支援事業実行委員会

東日本大震災では避難所生活の中で亡くなった関連死の方が約2000人強。また、乳幼児を抱えた家族や女性が避難所生活のなかで、男性とは違った困難を抱えながら生活していました。女性に優しい避難所は多様な人たちにとっても安心できる避難所につながります。発災から3～4日後の避難所づくり運営のポイントを男女共同参画の視点からまとめられています。

質疑応答から

- ◆防災士の資格について
福岡市では月に2回の研修を6箇月間履修し、受験するもので一年で100人が取得している。
- ◆各種災害に対する防災について
防災ハンドブックには、自身に限らず、水害・台風などすべての災害に適用するように作られている。感染症対策やハザードマップも必要と思う。
- ◆要援護者制度について
個人情報による同意という問題よりも向こう三軒両隣、お隣同志で助け合うという組織作りが大事。

参加者の声

- 実際のビデオを見て女性の力がいかにすごいものか理解できました。又、女性の視点を取り入れが必要ともわかりました。(60才代男性)
- 時間はかかると思いますが各行政区で集結し、まずは役員の役割分担等の勉強を希望します。女性の登用の大切な事は十分に分かりませんが、同時に男性が理解出来る様勉強会が必要だと思いました。(50才代女性)

平成25年度「第2回男女共同参画セミナー」を開催しました

平成25年10月5日(土)に、市役所大会議室にて、『これからのくらしと年金 ～これだけは知っておきたい 公的年金についてやさしくお伝えします～』をテーマに、社会保険労務士である菅野美和子さんに講演していただき

ました。10月から引き下げられる年金のことや、知っておくと役に立つ内容を分かりやすくお話していただきました。セミナー終了後も、菅野先生に熱心に質問される方もおられました。(参加者30名)

「これからのくらしと年金」

～これだけは知っておきたい公的年金についてやさしくお伝えします～

菅野美和子
社会保険労務士 菅野美和子氏



講演内容



年金制度は2階建ての家として考えるとわかりやすいです。基礎年金つまり国民年金の1階、厚生年金または共済年金の2階部分があり、そのほかに障害年金、遺族年金があるということ。レジュメの中に8箇所、●で文字が隠されています。その部分を会場の参加者と一緒に考えていきます。先ず『石の上にも●年』－これは「石の上にも25年」、保険料を納めた期間が25年に1ヶ月でも足りなければ年金がもらえない。『保険料を払えないとき なにはさておき●』－「…なにはさておき免除申請」、いろんな事情や生活の状態が苦しいときは、先ず市役所に行って免除申請の手続きを行いましょうということです。一番いけないのは、そのままにして放っておくことです。『老後の沙汰は●次第』－「老後の沙汰は給料次第」、これは2階部分の厚生年金のことですが、現役時代の給料と加入期間が基になるので大事だということです。『老いては●に従え』－「老いては妻に従え」、個人単位に見えていますが、もらうときは夫婦

単位です。年金のお得なもらい方は、夫婦が元気で長生きすること。仲よく暮らしていくための知恵です。菅野さんが実際に受けた相談や事例を織り交ぜながら、噛み砕くように説明してくださいました。 [飯尾]



参加者の声

- 💬 年金なんてまだ先の話だと思っていたが、50を過ぎてきになっていた矢先でした。菅野さんの説明がとても明解でよく分かりました。早速夫と自分の年金記録を確認します。それと夫に少し優しくしようと思いました。(50代女性)
- 💬 現在77歳受給者です。本日のセミナーは大変よく理解できました。精神的に落ち着くことができ、有意義でした。(70代男性)
- 💬 20代の若い世代に参加してほしかった。(70代男性)
- 💬 年金の説明をこのように分かりやすく聞くと、人生設計ができてとてもよかったです。(40代女性)

出前講座

10月22日(火)中央区成人学級で出前講座を行いました。寸劇『食卓の上で』などを行いました。寸劇には、啓発推進委員の他、古賀市市民劇団DAICOON(ダイコン)で活躍の城戸京子さんが特別に参加していただき、白熱の演技をみせてもらいました。受講者のみなさんも身近な男女共同参画問題へ関心を寄せていただいたようでした。

平成25年度「審議会等女性委員セミナー」を開催しました

平成26年3月15日(土)に、市役所302会議室にて、『ワールドカフェ～言いたい放題交流会～』を審議会等に所属している女性委員と男女共同参画啓発推進委員の女性委員で開催しました。男女共同参画啓発推進委員の男性委員は、ス

タッフとして、参加者の皆さんに美味しいコーヒーを淹れるおもてなし係として、女性委員の皆さんを和ませました。

ワールドカフェ

～言いたい放題交流会～



ワールドカフェって？

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、4人くらいずつのテーブルに分かれて、メンバーを交代しながら、自由に楽しくおしゃべりをして、参加者みんなの思いや知識を集めることができる、話し合いの方法のことです。話し合いのテーマは決まっていますが、あとはテーマに沿って、参加者同士で自由におしゃべりをして、思いや知識を交換・共有していきます。



わかりあえないことから始める コミュニケーション

人はいろいろな立場や環境や身についた習慣でそれぞれに社会と関わっています。男女間、同性間、夫婦、親子、嫁姑等々と関係性もさまざまですが、わかり合いたいけどわかり合えないことの方が多い世の中。今回は「わかりあえないことから始めるコミュニケーション」と



題して、ワールドカフェ形式の話し合いを行いました。それぞれに、日常で起こっている小さなトラブルを自由に話していると、自然にいろいろな意見が飛び交い、同意してみたり、違う意見を聞いてみたり、反省してみたり・・・。それぞれの違いを認めて理解する事が大切だということ、100%わかり合えないといけない訳ではないということ、諦めなくても時間と共にわかりあえる時が来ることもあること、また、コミュニケーションツールや、使い方でも伝わり方が違う事もあるよねと最近の若者のメディア依存のコミュニケーションの取り方や、ダイバーシティ（多様性）等にまで話が広がりました。



感想

初めてお会いする方も多かったのですが、みなさん社会で活躍されている方々なので考え方も幅広く、テーマの内容も深く、楽しく進めることが出来ました。

終始、和やかな雰囲気で進められたワールドカフェ。答えを出すための話し合いではなく、心の幅を広げるいい機会ですね。（中園）



参加者の声

今回のやり方は初めてで大変良かった。受け身の講演だけでなく、同じ立場の方や、自分の意見を言えるこういう場が良かった。

推進委員さん関わりがもったいなかった。せっかくの機会なので男女の関わりをもちながらワールドカフェができれば良かったですね。

平成25年度は会議に参加する事が殆ど出来なかったのですが、たまに出席出来た時に、セミナー委員会の皆様の暖かい雰囲気に入れ込んで安心して参加する事が出来ました。今年度は特に男性の委員さんが増え、委員会がまさに男女共同参画社会となりました。素晴らしい出会いに感謝して今後とも多くの事を学ばせて頂きたいと思っています。

(江口真由美)



男女共同参画啓発推進委員になって1年、そもそも男女共同参画に興味を持ったのは地域の活動において女性の登用が少ない事と家庭内で自分の役割を見つめ直そうという考えでした。

いろんなセミナーやフォーラム、つどいに参加させていただきいろんな観点から勉強させていただきました。第1回セミナーの「防災における女性の登用」などは女性の視点に立った細やかな対応力など潜在能力の高さを痛感させられました。参画社会づくりが認知されてきましたが、まだまだ社会では、女性が参加しやすい環境づくりが必要と感じられた一年でもありました。啓発推進委員として個人が主体性を持って活動できる環境づくりのお手伝いができるようこれからも啓発していきます。

(長崎正幸)

男女共同参画推進の活動に積極的に参加するようになって4年目を迎えようとしています。たくさんの方々と接する機会をいただき自分の考え方だけでなくということ、色々な感じ方があって色々なやり方があることを目の当たりにしてとても勉強になりました。そして、私にとっては昨年11月にイギリス研修の機会を与えてくれたことが本当に大きな出来事でした。後押ししてくださった先輩方や協力してくれた家族に感謝しています。シンプルだけど難しい、「自分で決めてやってみる」ということができ自信がつけました。今後もより豊かに生活できる古賀を目指して活動していきたいと思っています。

(小田辺美香)

男女共同参画

古賀市男女共同参画啓発推進委員を募集しています！

身近にある問題や関心のあることをテーマにセミナーを企画してみませんか？

市では男女共同参画セミナーやつどいの企画や運営、事業所・地域及び団体等における啓発をする啓発推進委員を募集しています。男女が共に豊かに暮らせる古賀市を目指し、楽しく語り合い素敵なまちづくりを共にしていきましょう。

楽しく和気あいあいという雰囲気です。あなたも気軽に活動に参加してみませんか？

○活動内容 セミナーの企画・運営やつどいのサポート。出前講座での寸劇年10回程度の企画会議の参加。(月1回程度)

【申し込み・お問い合わせ先】

総務課男女共同参画係

電話 942-1260 FAX 942-3758